

IPNU

キャンパスネット



地域で地域住民とともに学ぶ

今年も学生たちはさまざまな事業や活動を行うために大学の外に出て、地域をフィールドに元気に活躍しています。学生は毎日の大学の講義や実習を受講しつつ、仲間同士で話し合い、ときには悩み、ぶつかり合いながら、地域住民の役に立ちたいという熱い思いを持って取り組んでいます。これからも皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



2013年6月30日(日)かほく市
「かほく市七窪地区自主防災訓練」
災害ボランティアサークルふたば・
ヘルスサポートクラブ・
Nursing Lover's Society 等参加



2013年7月17日(水)能登町・9月12日(木)穴水町
「健康教室」平成25年度能登キャンパス構想推進事業
「能登キャンパス学生教育・活動支援事業」4年生有志



目次

学生活動特集 1	● CNS (専門看護師) 合格者の声 4	● サークルの紹介 6
大学の主な動き	● 第10期卒業生に聞く	● 第14回大学祭のお知らせ 7
第14回入学式 2	● 看護師として就職して 5	● 大学院紹介 7
石川県立看護大学に入学して 2	● 保健師として就職して 5	● 地域ケア総合センターから 8
夏のオープンキャンパス2013 3	● 助産学専攻科に進学して 5	● 看護キャリア支援センターから 8
学生広報委員始動!! 3	● 養護教諭特別別科に進学して 5	● 平成25年度後期キャンパススケジュール 8
JICA 日系研修 3	● キャンパスライフ	
トピックス	● 小児看護学実習 I 6	
中学生の「わく・ワーク (work) 体験」事業を始めました... 4	● 第V段階実習 6	

大学の主な動き

第14回入学式



—新たな芽吹きの時—

2013年4月5日（金）、第14回石川県立看護大学入学式が挙行されました。谷本正憲石川県知事をはじめ、石川県公立大学法人理事長、石川県医師会長（代理）、看護協会長のご臨席を賜り、看護学部看護学科93名（1年次生84名、3年次編入生9名）、大学院看護学研究科13名（博士前期課程10名、後期課程3名）が本学への入学を許可されました。

国家斉唱、学歌「地球の子守歌 歌え心安らかに人々が光に包まれるまで」斉唱に続き、学長式辞で、石垣和子学長は「開学以来、約800名の有為な人材を送り出してきたこのキャンパスで、真に喜ばれる看護を提供できる職業人、将来的なリーダーや看護学の発展に寄与できる人材として成長してください」と励ましの言葉を贈りました。来賓の方々の挨拶に次いで、学部を代表して英あおいさん、大学院を代表して笠井恭子さんが今後の大学生活への新たな旅立ちに際して、希望と決意を込めて力強く宣誓を行いました。

今年も新たな芽吹きの季節に、意欲に満ち、豊かな可能性をもった新入生を迎え、大学全体が新しい希望と期待に溢れました。

学生部長 浅見 洋



石川県立看護大学に入学して



私は昨年、石川県立看護大学のオープンキャンパスに参加し、学習環境が整ったこの大学で看護師になるための勉強がしたいと思い進学を決めました。現在、入学してから大学生活を過ごしていく中で、この大学の素晴らしさに日々気づかされています。

石川県立看護大学は他の総合大学と比較し、学生数は少ないのですが、その分学生同士で親密な関係を構築することができ、学生同士で助け合いながら看護技術を高めていくことができます。また、サークルなどでは学年の枠を超えて縦の繋がりが生まれるだけでなく、先輩方から勉強など大学生活についてたくさんのアドバイスをもらい、より良いキャンパスライフを送ることができています。

まだ大学生活は始まったばかりですが、この大学で学べることは将来社会へ出て活躍する際にとっても役に立つことばかりです。4年間の大学生活で学んだことを少しでも多く自分のものにし、知識的にも人間的にも成長し、石川県立看護大学の名に恥じない看護師を目指したいです。

1年 上滝 成美

大学の主な動き

夏のオープンキャンパス 2013

2013年7月20日(土)に夏のオープンキャンパス2013を開催しました。県内外から高校生とその保護者ら約400名の参加がありました。

参加者は、大学説明会、保護者セミナー、模擬授業、キャンパスライフ紹介、施設見学・看護学体験、相談・交流コーナー等のさまざまな企画に自由に参加し、教職員や学生らと積極的に交流し、大学内は活気に満ち溢れていました。今年度は初めての取り組みとして、学生広報委員が中心となってキャンパスツアーや学生プレゼンテーションなどの企画を行ない、とても好評でした。

このオープンキャンパスが参加者の皆さまにとって本学への理解や関心を深める機会となり、一人でも多くの方々に本学への進学を志していただけることを期待しています。

なお、今年度は秋(10月27日(日))にもオープンキャンパスを開催します。



学生広報委員始動！！

学生広報委員は各学年の学生有志によって構成され、主な役割はオープンキャンパスの企画・運営補助、大学新聞やホームページでの学生活動の情報発信、医療情報誌「ナースステーション」記事の企画など、大学広報全般について学生の視点を生かした幅広い活動を展開することを目指しています。

夏のオープンキャンパス2013に向けて、約2か月前からみんなで企画や役割について何度も話し合い、準備を重ねました。当日は、キャンパスライフ紹介や相談・交流コーナー、キャンパスツアーなどで学生の率直な気持ちを伝えることができ、参加者の皆さんにも喜んでいただけたと思います。

今後も、学生から大学の魅力を多くの方に伝えていきたいと思っています。



学生広報委員 4年 南 克典

JICA 日系研修

平成25年度のJICA日系研修では、パラグアイ共和国イタプア県ラパス市において高齢者福祉ボランティア活動を実践されている田口美恵子さんと三浦久美子さんの2名が研修員として受講されました。7月12日(金)～8月9日(金)までの約1ヶ月にわたり、さまざまな内容の研修を受けられました。羽咋市および羽咋市社会福祉協議会の全面的な協力のもと、高齢者保健福祉施設や自主グループ活動への見学、参加をさせていただき、住民や保健福祉専門職との交流を通じてコミュニケーションの大切さ、介護予防の方法や介護者へのサポートの重要性などを学ばれました。大学での講義では看護や介護の科学的、専門的な内容に苦勞されながらも、実技や演習を通して実践的な手技を体得されていました。帰国してからボランティア仲間に学んだことを伝えて、まずは自分たちに何ができるか、何をしなければならないかを話し合うことから始めたいと気持ちを新たに、元気に日本を後にされました。



トピックス

中学生の「わく・ワーク (work) 体験」事業を始めました

附属図書館では今年度から、かほく市立高松中学校の生徒さん3名を受け入れて、地域とともに「わく・ワーク (work) 体験」事業を2013年7月25日(木)～7月26日(金)に実施しました。

香林海月さん、竹中新湖さん、西智沙都さんの2年生3名が、図書の移動、本の装備(蔵書印の押印)、カウンターでの貸出・返却業務、文献複写依頼の受付・発送などの図書館業務を体験しました。

2日間という短い時間でしたが、図書館職員の指示をよく理解し、確実に作業を行っていました。参加した中学生は、カウンターに出て看護学生さんとお話しできたことが良かった、本を1階から2階の書庫へ運ぶのが大変だった、本の装備が楽しかったと感想を話していました。わくわく、どきどきの就業体験ができたようです。来年度も引き続きこの事業を継続し、地域の身近にある看護大学の役割を理解していただき、将来は看護大学に入学して看護職を目指してほしいものです。

図書館長 丸岡 直子



左から竹中さん、香林さん、西さん

CNS (専門看護師) 合格者の声



古谷 和紀

所属：京都大学医学部附属病院 老人看護専門看護師
大学院名称：石川県立看護大学 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程(修士) 実践看護学領域 老年看護学分野 平成23年度修了

私は、平成24年度に日本看護協会の専門看護師(CNS)認定審査に合格し、京都大学医学部附属病院の高齢患者が多く入院している老年内科病棟を中心に老人看護CNSとして働いています。大学院教育では指導教授のもと専門看護師に必要な自己の看護実践を表現する能力、またその実践を振り返り、弱みや強みを認識することを学びました。大学院修了後は、多忙な臨床現場で専門看護師認定審査の受験準備に時間を割くことは非常に困難でした。しかし、大学院での学びを生かし、高い意識を持って臨んでいる看護実践をありのまま表現し、振り返ったことが合格につながったと確信しております。高齢者の意思を支える老人看護を取り巻く状況は厳しいものですが、高度実践看護師として幅広い活動を続けて参ります。



松井 弘美

所属：富山県立中央病院 小児看護専門看護師 2階南病棟 看護師長
大学院名称：石川県立看護大学 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程(修士) 実践看護学領域 子どもと家族の看護学分野 平成20年度修了 小児看護専門看護師教育課程 平成21年度修了

2012年11月に小児看護専門看護師の認定を受けました。大学院在学中は、懸命に学んだ記憶があります。1年目は、論文や英文の和訳に追われ、知識を詰め込むことに精いっぱいでした。2年目は修士論文の仕上げもあり、日々時間に追われましたが、2年目に入ると何故か自分で思考し、新しい考えを生み出すことができるようになっていました。

大学院修了後は、大学院で学んだことをそのまま患者に適用できたり、論文を読んで参考になる方法を提案できたり、かなり活動できるという実感をもつことができました。

CNSの認定を受けるという目的を達成した今思うことは、大学院在学中に、多くの先生方や学部の子供さん、実習先の指導者の方々に多大な影響を受けたことです。大学院での経験はどれ一つとっても無駄はなく、他の分野の先生の研究ボランティアをしたことも、今となっては貴重な経験だと思えます。大学院には、知識と経験を統合し、自ら考えることのできる人材を育成するための環境が整っていたことを実感します。

今後も、CNSとして子どもと家族の最善の権利を守り、ケアしながら日々向上し続けたいと思います。

第10期卒業生に聞く

看護師として就職して



私は現在、金沢医療センターの血液内科と脳神経外科の混合病棟で働いています。就職先や診療科を選んだときには、学生の頃の実習での患者さんとの関わりや、病棟で働く先輩看護師の姿が大きく影響したと思います。私自身が現在思い描いている看護観や目指すべき看護師像を見出すことができたのも実習での経験が大きかったと思います。働き始めるとなかなか1人の患者さんに時間をかけて関わることができないのが現状ですが、患者さんとの関わりを大切に、患者さんの目線に立ったケアのできる看護師になりたいと日々精進しています。

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター 越村 香菜



私は国際看護に興味があり、政策医療として国際医療に取り組む国立国際医療研究センター病院に就職しました。現在私は泌尿器、膠原病、眼科の混合病棟で働いています。4か月経ち、習得できた看護技術が増え、患者さんの命を受け持つ責任を感じています。毎日緊張の連続ですが、周術期から慢性期まで幅広く学べる場であり、同期の仲間と助け合いながら頑張っています。卒業して思うことは看護大学で学んだことがとても役に立っているということです。職場では国際保健医療講座が毎月1回開催され、実際に海外で活躍された医療者の方から直接貴重な講義を受ける機会があります。今は看護師として先輩看護師のようになることに必死で、なかなか国際看護まで考えることができないのが現状ですが、夢に向かって頑張っていこうと思います。

独立行政法人 国立国際医療研究センター病院 橋上 まさよ



学生時代から「患者さんに寄り添った看護」「笑顔で患者さんと接する」というモットーを持っていた私は、病院見学で当院を訪れた際に見た先輩看護師の姿と看護部の理念に共感し、ほとんど悩むことなく就職先を決定しました。また長く勤めることができ、自分をスキルアップできる環境にあったのも非常に大きなポイントとなりました。

就職して4か月が経ち、少しずつ一人でできることが増えている自分や憧れの看護師として働いている自分に嬉しさと不思議な感覚を抱きつつ、毎日充実した日々を送っています。これからも「看護とは何か」を常に追求しながら、頑張っていきたいと思っています。

公立松任石川中央病院 清崎 由紀乃

保健師として就職して



保健師として就職して4か月が経とうとしています。日々地域住民の皆さまと関わる中で、様々な生活背景の中で生活されている方がいるということをはじめ、講義で習ったことを実際に目の当たりにし、学生時代の学びを実践し深める毎日です。

保健事業では赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年齢層の方と接する機会があり、多くの住民の方と会ってお話することが今の楽しみのひとつになっています。

試験勉強は途中で何度も嫌になり投げ出したくなりましたが、友人たちに話を聞いてもらい支えられ、乗り越えることができました。

就職してからも、新しいことを経験するたびに学ぶべきことはまだまだであると実感します。豊富な知識と経験を持つ先輩方のような保健師になれるよう、これからも勉強を続けていきたいと思っています。

輪島市福祉環境部健康推進課 保健師 前田 涼生

助産学専攻科に進学して



私は今年から浜松医科大学助産学専攻科に進学しました。聞いていた通り、専攻科での毎日はあっという間です。6月終わりから実習も始まり、大変ですが充実した日々を過ごしています。

去年の今頃は、まわりの同級生は就職先が決まっているのに、自分はまだ受験に向けて勉強している時で、気持ちが焦り、つらく感じることもありましたが、しかし今は、「あの時頑張った良かった」と思っています。日々、助産師という仕事のやりがいや魅力、責任の重さを感じ、夢に向かって頑張っています。

私は大学で母性の授業に興味をもち、助産学専攻科への進学を決意しました。在学生の皆さんにもぜひ、大学で自分が興味をもてる分野を見つけ、積極的に学んでいってほしいです。

浜松医科大学助産学専攻科 山田 理枝

養護教諭特別科に進学して



私は現在、金沢大学養護教諭特別科で養護教諭の勉強をしています。

私は小学校の頃から教師への憧れをもっており、中でも、高校で出会った養護教諭との関わりから、子どもたちの学校生活を心と体の面からサポートする養護教諭になりたいという思いがありました。そのため、看護大学へ入学した時から別科への進学を決めていました。

入学してから、養護実習、課題、教員採用試験の勉強に追われ、瞬く間に4か月が過ぎました。別科では、お互いを高め合える新しい仲間との出会いや、先生方の熱心なご指導のおかげで毎日新しい学びがあり、忙しくも楽しく、充実した日々を送っています。子どもたちの心身の健康を支えるとともに、安心感を与えられる養護教諭を目指して、これからも努力します。学生の皆さんも自分の目標に向かって頑張ってください。

金沢大学養護教諭特別科 戸部 雅代

キャンパスライフ

小児看護学実習 I



小児看護学実習 I で私は保育施設の 3～5 歳児を担当しました。普段あまり接する機会が少ない子どもたちとの関わりの中で、子ども同士で自慢し合ったり、競い合ったりする様子からは確実に自律心が育っていること、そして自分の意思や存在をアピールしようとする気持ちから自我意識の大きさを実感しました。園で集団生活を送ることは家庭での生活と比べて、より社会的な生活習慣を身に付けることができ、みんなで決めたルールやマナーを守ることによって習慣が行動化・内面化していくのだということを学びました。この実習では子どもの成長発達についての理解を深めることができました。この学

びを今後に生かしていきたいと思います。

3年 上田 優葵乃

第V段階実習



私は、第V段階実習を通して多くの学びを得ることができました。これまでの実習では主に入院患者と関わる機会が多く、対象の疾患や障害に焦点を当てて関わっていましたが、第V段階実習では地域で生活する方や在宅で療養する方と関わらせていただいたことで、対象を一人の生活者として捉えることの重要性を実感しました。

私は将来病院で看護師として働きたいと考えています。その時には、第V段階実習での学びを生かし、対象を生活者として捉え、できるだけ普通の生活に近い安楽な療養生活を送っていただけるよう支援するとともに、退院がゴールではないということを忘れず、地域に戻ってからも安心して生活できるような継続した支援を行えるよう心がけたいと思います。

4年 宮崎 志保

サークルの紹介

災害ボランティアサークル・ふたば

石川県立看護大学では東日本大震災以降、先輩方が中心となり宮城県亘理町でボランティア活動を行ってきました。これまでの活動を今後も継続的なものにとしようと、今年4月に災害ボランティアサークル・ふたばを立ち上げました。また、地域の防災意識を高めるため、かほく市の防災訓練に災害時の応急処置法について紹介するなど、地元での活動も進めています。今年9月には亘理町でのボランティア活動を予定しています。今後も、亘理町の皆さんとの交流を通して、地域が持つ課題に対して、看護を学ぶ私たちができていることを考えて実践していきたいです。そして、学んだことをかほく市に還元できるように活動を進めていきたいと思っています。



大和証券福祉財団より平成25年度災害時活動ボランティア助成を受けました。この助成金をもとに亘理町でのボランティア活動を行なわせていただきます。



TEAM まめ宝

私たちは、宝達志水町の中山間地域への訪問活動を中心に活動を行っています。訪問地域は、65歳以上の高齢者が住民の50%を超える限界集落で、高齢者だけで暮らす世帯が多くなっています。私たちの目的は、そんな住民の皆さんと「健康茶話会」を開いて交流し、健康維持・促進に必要なことを考えながら、支援してこうというものです。活動では、地域の保健師さんや先生方のアドバイスが頂けるので、とても勉強になります。そして「健康茶話会」ではいつも笑顔が絶えず、和やかに楽しい時間を過ごせることが何より嬉しいです。まだ取り組み始めたばかりですが、住民の皆さんとよりよい関係づくりや働きかけができるよう活動していきたいと思っています。



第14回大学祭のお知らせ

テーマ

「笑顔満祭！～WA!HA!HA!笑顔になってもらいたいんです！」

今年の石川県立看護大学大学祭コンセプトは、「子どもからお年寄りの方まで来ていただいたすべての皆さんに楽しんでもらおう！」です。現在、世代関係なく楽しめるような大学祭にするため、多くの企画の準備を進めています。お子様からご高齢の方まで多くの方に参加していただき、大学祭を盛り上げていきたいと思っておりますので、ご家族・お友達をお誘いあわせのうえ、ぜひご来学ください。

日時：2013年10月26日（土）9：30～18：30

10月27日（日）9：30～15：30

場所：石川県立看護大学

企画：模擬店、献血、緑日、地域住民の方によるステージ発表、お化け屋敷、カラオケ大会、バンド演奏、ミスコン、仮装コンテスト、ダンス、子どもの部屋、フリーマーケット、スタンプラリー、県看ドック、大学祭実行委員会企画、各サークル企画など



大学祭同日開催

石川県立看護大学公開フォーラム 2013

「笑いと医療～笑う看護に福来たる～」

日時：2013年10月27日（日）14：00～16：00（13：30開場）

場所：石川県立看護大学講堂

内容：第1部「古典落語と講話」

講師：真打落語家 春雨や落雷師匠（整形外科医 安部正之先生）

第2部「ディスカッション」

参加費：500円（学生無料）

申込・問合せ先：石川県立看護大学附属地域ケア総合センターまで電話、FAX、メールにてお申し込みください。（定員450名）

TEL：076-281-8308 FAX：076-281-8309

E-mail：sogocen@ishikawa-nu.ac.jp

秋のオープンキャンパス 2013

日時：2013年10月27日（日）9：30～12：00

場所：石川県立看護大学

詳細は大学ホームページをご覧ください。



大学院紹介

看護学研究科看護学専攻博士前期課程 健康看護学領域・コミュニティケア分野

本ゼミでは現在大学院生3名が石垣教授に研究指導していただいております、そのうち私を含め2名は行政で保健師として働きながら学んでいます。

私は地域看護の専門看護師（CNS）教育課程を履修しており、2013年9月に沖縄県宮古島市において2週間にわたり地域看護実習を行いました。私の研究テーマは「中堅期保健師の職業的アイデンティティと関連要因」です。昨今の行政保健師の現場では、行政改革による人員削減等の影響もあり、専門的な業務だけではなく、行政事務の割合も増えてきています。このような中で、「大学で学んだ保健師ってこんなものだったかな？」と感じる事も少なくはありません。保健師の役割は時代と共に変化しており、このような変化も仕方ないのかもしれませんが、どんなに時代が変わっても変化してはならない、保健師という専門職の核となる部分は何か、また、保健師にとっての高度実践とは何かについて、頼りになる先生方や仲間と学んでいます。

博士前期課程 2年 角地 孝洋



地域看護実習（宮古島市）での現地指導者とともに（左から2番目が角地さん）

地域ケア総合センターから

こんにちは、地域ケア総合センターです。今回は、地域ケア総合センターの『国際貢献事業』についてお伝えします。平成25年度、本学では国際社会への貢献を目的に、南米パラグアイの日系研修を7月～8月にかけて実施いたしました。また、後期11月～12月にかけて、中央アジア（タジキスタン他5カ国）の混成チームの青年を対象とした青年研修を実施する予定です。いずれも国際協力機構（JICA）の委託事業です。この事業を通じて、多くの国の人々と保健・医療・福祉について語り合い、学びあうことができます。そして、何よりも大切なことはそれぞれの国の歴史や文化、政治・経済を含めた視野の広い相手の理解ではないかと感じています。教職員はじめ学生・院生の皆さまの国際交流の機会にさせていただければうれしく思います。

地域ケア総合センター長 川島 和代

看護キャリア支援センターから

設立記念講演会のご案内

本学では看護職者の継続教育を担い、優れた臨床能力を持つ看護師などのキャリア開発を支援することを目的に、附属看護キャリア支援センターを11月に開設する運びとなりました。その設立に際し、記念講演会を開催いたしますので、多数のご参加をお待ちしています。

日時：2013年11月2日（土）13:00～16:00（受付開始12:30～）

場所：石川県立看護大学講堂

記念講演Ⅰ：「米国における高度実践看護師の教育と実践活動」

講師：フランシス・M・ルイス博士（ワシントン大学看護学部教授）

記念講演Ⅱ：「いきる・くらす人に寄り添う看護へのまなざしと期待」

講師：波平 恵美子氏（お茶の水女子大学名誉教授）

主催：石川県立看護大学附属看護キャリア支援センター・大学院看護学研究科

参加方法：10月18日（金）までに氏名・所属・職種・連絡先を記載の上、FAX、又はE-mailでお申し込みください。

お申し込み・問い合わせ先

石川県立看護大学附属看護キャリア支援センター準備室

TEL & FAX：076-281-8407 E-mail：kyaria41@ishikawa-nu.ac.jp（担当：片山）

石川県立看護大学
看護キャリア支援センター設立記念講演会

参加費無料

石川県立看護大学では、看護職者のキャリア形成を支援し、保健・医療・福祉分野への貢献を果たすことを目的に、この中核施設として附属看護キャリア支援センターを開設する運びとなりました。その設立に際し、記念講演会を開催いたします。

趣旨

オープニング 挨拶・趣旨説明

記念講演Ⅰ 「米国における高度実践看護師の教育と実践活動」
講師：フランシス・M・ルイス博士（ワシントン大学看護学部教授）

記念講演Ⅱ 「いきる・くらす人に寄り添う看護へのまなざしと期待」
講師：波平 恵美子氏（お茶の水女子大学名誉教授 医療人奨励賞）

平成25年
11月2日（土）13:00～16:00
受付開始12:30～


場所：石川県立看護大学講堂
主催：石川県立看護大学附属看護キャリア支援センター・大学院看護学研究科
参加方法：10月25日（金）までに裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAX又はE-mailでお申し込みください。

交通のご案内
●JR石川線石川駅より徒歩10分（石川駅前バス停）
●石川線石川駅より徒歩10分（石川駅前バス停）
●石川線石川駅より徒歩10分（石川駅前バス停）
●石川線石川駅より徒歩10分（石川駅前バス停）

お申し込み・問い合わせ先
石川県立看護大学附属看護キャリア支援センター準備室
TEL & FAX: 076-281-8407 E-mail: kyaria41@ishikawa-nu.ac.jp

平成25年度 後期キャンパススケジュール

後 期	
授業開始	10月 1日（火）
履修登録受付	9月19日（木）～10月 4日（金）
大学祭（看大祭）	10月26日（土）～10月27日（日）
冬季休業	12月24日（火）～1月 5日（日）
補講・試験	2月12日（水）～2月20日（木）
春季休業	2月21日（金）～3月31日（月）
卒業式・学位授与式	3月15日（土）

石川県立大学法人

石川県立看護大学 看護学部看護学科 大学院看護学研究科
 ISHIKAWA PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地 TEL 076-281-8300 FAX 076-281-8319
 URL <http://www.ishikawa-nu.ac.jp> e-mail office@ishikawa-nu.ac.jp

版權は石川県立大学法人に帰属します